

12月定例教育委員会 会議録

日 時	平成29年12月13日(水) 午前9時30分～午前10時10分
場 所	9階会議室9-2
出席委員	小林教育長・小宮山職務代理者・原委員・堀委員・市川委員
出席事務局職員	小林教育部長・嶋田教育総室長・望月生涯学習室長・塩澤総務課長・松田学校教育課長・宮川学事課長・照沼教育施設課長・本田甲府商業高等学校事務長・碓井甲府商科専門学校事務長・田中生涯学習文化課長・飯田スポーツ課長・本田図書館長・村田総務課課長補佐・芦川総務課課長補佐・鷹野総務課係長・杉山総務課主任
傍 聴 人	
署名委員	
委員会書記	

・会議録署名委員の指名 市川委員

・11月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

小林

堀

小宮山

市川

原

1 開会

小林教育長

これより、12月定例教育委員会を開会します。

(1) 教育委員あいさつ

市川委員

おはようございます。10月12日より教育委員を拝命いたしまして、今に至りますが、なかなかどういう仕事なのか見えませんので、戸惑いながらの毎日でございます。

これまで私は、平成27年度末に玉諸小学校を退職いたしまして、その後は、甲府市教育委員会の嘱託職員として採用いただき、学力向上専門員という仕事をさせていただきました。主に、学校を巡回して、先生方の授業に参加をさせていただいて、参考になる情報を提供するという役割を1年半ほどさせていただきました。

そのようなこともありますので、今日は、全国学力状況調査の結果等に関連したことでちょっとみなさまにも情報提供をさせていただけたらと思います。

すでに学校教育課のホームページに結果の概要が公表されていますので、おおよそのところは十分ご理解いただいているとは思いますが、この学力調査は、いわゆる教科に関する調査と

して、国語と算数・数学に関して、基本的な知識に関するもの、それらを応用するものに分かれていて、国語に知識と応用、算数・数学に知識と応用の、4つの調査が学力に関しては行われず。

また、学習状況調査がありまして、子どもたちの学習習慣や生活に関する習慣、子どもたちの思い、それから、学校の教員に対しては、子どもたちにどのような指導をしてきたか、子どもたちをどんな風に見ているかを問う調査があります。最初にお話ししたものは児童・生徒質問紙と呼ばれ、教員に対するものは学校質問紙と呼ばれています。

それぞれ調査の結果は、色々ありますが、もうすでにご承知のとおり、今年度甲府市の子どもたち小学校6年生、中学校3年生ともに、なかなか良好な結果になってきています。

特に中学生の場合は、ホームページを見ていただければわかるように、ほぼ全国平均を超えています。特に国語がすばらしい。余計なことをと思われるかもしれませんが、全国の都道府県の結果を、小学校、中学校で順位付けをして並べているサイトがあります。この話をすると、教育長に順番ではないよと叱られるのですが、中学生の国語A・Bともに、その順位付けでみると、実は、山梨県は全国で一桁台です。甲府市は、山梨県の平均と同等かそれ以上ということですから。よく、結果として、福井県や秋田県、石川県がよかったという話がありますが、中学生の国語に関しては、実は、それらに次ぐくらいの成績になっているということですね。ただ、数学に、小学校の算数にもですが、課題はあります。小学生の方は、中学生のそれに比べると少し見劣りはする訳ですが、心配するような結果ではありません。

では、中学校で、なぜそのような伸びがあるのか。今まで振るわなかったものが、中学校へ行って突然よくなることはありません。小学校6年で調査をして、その後、中1、中2の二年間で中学校3年生の調査があるわけですが、その間に、そんなに伸びることはないはずなのですね。

そこで、その原因を考えていきますと、まず、小学生の調査の結果ですが、山梨県や甲府市の子どもたちは、自己肯定感が非常に高いです。自分が色々なことをきちんとやっていて、がんばっているという自己肯定感が高い。それから、生活習慣がしっかりしている。そしてもうひとつ、私はポイントだと思っているのですが、先生との関係が非常に良好です。先生が自分のことをみて認めてくれているという認識は、全国でもトップクラスです。子どもたちはそういった認識をしています。

意外と甲府市の小学生の保護者は、勉強よりも、サッカーや野球、外で遊ぶことが大事だという方が非常に多いです。ですから、あまり小学生は勉強しないのです。勉強しなければ、当然良好な成績は残せるはずはないのですが、必要なことはきちんと身に付けていて、しかも、伸びるための前向きな姿勢は養われていると捉えることができるかなと思います。そういうことがあるので、中学校へ行って、よく伸びて、がんばっている姿が見えてくるのではないのでしょうか。

学習習慣というと、家庭学習の時間がありますよね。家庭学習の時間を比べてみると、平日1時間から3時間以上勉強をしているという子どもは、全国ではおよそ63パーセント。甲府市の場合、62パーセントなので、全国よりも若干勉強時間が少ないという結果が出ています。ですが、中学生になると、ほぼ全国と一緒にです。

実は、その勉強時間と学力状況調査の教科の結果をクロスして調査した集計があり、やはり勉強した時間に比例します。ただし、小学生の場合は、3時間以上勉強した子は、2時間から3時間勉強をした子よりも、少し正答率が低くなります。これは集中力の問題だと思います。平日、学校でいろんなことをやってきて、家へ帰ってから、小学生が3時間以上勉強しても、あまり身

に付かないということになるのかなと思っています。

ところが、中学生になりますと、そうではありません。平日になりますと、勉強時間に比例して結果が伸びます。土日は中学生も一緒。家庭学習は大事であると常にお話しはさせていただいてきました、甲府市でも力を入れていることもありますので、これからますます期待ができるかと思えます。

もうひとつ、よく言われているスマートフォンです。学力とどう関係しているか。当然の結果ですが、“使っていない・持っていない”という子どもたちの方が、平均正答率が高いです。甲府市の中学生の場合、“スマートフォンを4時間以上やってしまう”子どもは、6パーセント、全国だと9パーセント。“3時間～4時間”の子どもは8パーセントほどで、これは全国と同じくらいです。“2時間～3時間”の子どもは16パーセント。“持っていないという”子どもは14パーセントで、全国だと16パーセントなので、若干ではありますが、全国の子どもたちよりも、スマートフォンを持っている子どもが多いです。

やはり、スマートフォンを使う時間が長くなることと、学力との因果関係は、あるかと思いません。こういう話を保護者の方にさせていただく機会がありました。「うちの子は大丈夫。スマートフォンで長い時間遊んでも、勉強も2時間以上しているから心配ない」というのですが、本当にそうかといいますと、実は違います。

これは、仙台市の教育委員会と東北大学の加齢医学研究所というところがコラボして、平成26年から27年にかけて調査をした結果です。仙台市のホームページにものっています。

仙台市の小学5、6年生約1万7千人近くと中学生2万5千人近くを調査した結果です。平成26年4月に算数・数学の試験をして、その点数と、スマートフォンの時間と勉強時間をクロスして集計しています。“2時間以上勉強して、スマートフォンは1時間以下”の子どもたちの平均点は75点だそうです。そして、“勉強は30分もしないけれど、スマートフォンもしない”子どもの平均点は63点。これは当然ですね。少しばかりスマートフォンで遊んで勉強をしっかりしている子どもの方が、平均点が高いのは、当然のことです。

ところが、ここが問題です。“勉強は2時間以上するけど、スマートフォンで4時間以上遊ぶ”子どもの平均点は、なんと58点。簡単に言うと、30分も勉強しないのは、ほとんど勉強しないのに等しい、ほとんど勉強しない子どもよりも、2時間以上勉強しても、スマートフォンで4時間以上遊ぶ子どもの方が、平均点が低くなってしまっているという結果が出ているのですね。

その一回だけの調査だとは思いますが、すでにリーフレットも出て、スマートフォンを使う時間は1時間以下にしましょうという取組みを仙台市では始めています。影響があるだろうと感じています。少なくとも、このようなデータがあるということで承知をいただければいいのかなと思っています。

このようなお話をさせていただくために、私もデータを集めましたので、こういう話をしやすくするために、都合のいい資料を集めてきたと取ることができますよね。これら以外と正反対のデータも探せば存在するかもしれない。今、いろんなところいろんな情報があって、その情報をうまく使えば、自分に都合のいい話ってたくさんできるのですね。ですけども、そうではなくて、それだけでは世の中通らないので、あふれている情報にどう対処していくか、どう活用していくか。よく言われるのが、この世の中に正解はない、大勢の人が集まって何かしようという時は、大勢の人が納得できる回答を見つけなければいけない。この場面でこのことをやるのには、これが一番いいという最適な答えを見つけなければいけない。そのような能力が、これからは必

要とされているということは、ずっと前から言われています、平成32年度から小学校で始まる新しい学習指導要領が目指している子どもたちに付けさせたい能力というのが、まさにここなのですね。ありとあらゆる情報を把握して、自分に都合のいい情報、自分に都合がわるい情報をすべて総合的に見て、ひとつのことを進めるために必要な答えを導き出せる力を持った人間を育てることが必要であると盛んに言われてできたのが、新しい学習指導要領です。広い世界のレベルでそのことができる人間になるために、小学校に英語が導入されると解釈できると思います。

甲府市の小学校・中学校の先生方、がんばってくれています、ここにいる大勢のみなさまで、ぜひ支えていただきながら、私も少しでもお役に立てるよう、一緒に仕事ができたらと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(2) 会議録署名委員の指名

小林教育長

会議録の署名委員は、市川委員を指名します。

(3) 会議録の承認

小林教育長

平成29年11月8日の定例教育委員会の議事録をご確認いただきまして、ご承認いただけますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは決定いたします。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 報告

小林教育長

報告 第17号 平成30年 甲府市「成人の日のつどい」の実施について 資料に基づきまして、田中生涯学習文化課長説明をお願いします。

(田中生涯学習文化課長より資料に沿って説明)

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見・ご質問等ありませんか。

小宮山職務代理者

対象者は甲府市住民登録者と市外在住者とあるのですが、案内は出すのでしょうか。

田中生涯学習課長

甲府市に住民票がある方については、住所が把握できるので案内状を出していますが、県外の

大学等へ出ている方は、ご本人や親御さんからお問い合わせがあった場合は、案内状を送付しています。広報等でも周知しますが、招待状がなくても参加できます。

小宮山職務代理者

私も3月まで自治会長をしまして、地域で成人のお祝いをする際に対象者を調べて案内を送るのですが、この場合は、住民登録をされている方には案内が送られますが、それ以外の方も甲府市出身でなくても参加しようとするれば誰でもできるのですね。

田中生涯学習課長

受付でチェックをすることはしません。ただ、トラブル等もありますので。今回から、案内状の中に、飲酒された方の入場はお断りすること、会場内及び敷地内への酒類の持ち込みは禁止すること、迷惑行為があった場合には退場していただくことを書き入れました。

堀委員

毎年、新成人の何割ほどの方が式典に参加するのでしょうか

田中生涯学習課長

昨年の対象者は、住民登録者数ですが、2,107名で、その内1,900名が参加しましたので、およそ8割の方が参加しています。

堀委員

毎年、同じくらいでしょうか。減少傾向はないでしょうか。

田中生涯学習課長

はい。毎年、だいたい2,000名の方が参加しています。

小林教育長

他に何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。それでは原案のとおり確認いたしました。

【原案どおり確認】

(教育委員会確認)

3 閉会

小林教育長

それではこれもちまして、12月定例教育委員会を閉会します。